



大雨・台風シーズン到来！

日頃の備えと早めの避難が大事です！

6月12日、熊本県を含む九州北部・南部地方が梅雨入りしました。6月と7月の雨の量を合計すると、1年間の3分の1以上がこの時期に降る計算となります。豊かな雨は、梅雨明け後の真夏の渇水を防ぎますが、時には大雨による災害をもたらします。特に近年では、梅雨明けまじかの7月に例年大きな災害がおきていますので注意が必要です。

町では、6月10日に消防団の各分団長をはじめ各区長や警察・消防関係及び県芦北地域振興局を交えて防災会議を開き、今年の気象の見直し、防災計画の見直しなどについて打ち合わせを行いました。このように町でも万全な体制でこれから大雨や台風に備えていきます。しかし、災害から身を守るのはあなた自身です。家の周りや地域の危険個所を点検し、家族や地域ぐるみで安全対策を話し合っておきましょう。

また、非常用品の準備や避難する場所を確認するなど「日頃の備え」を万全にし、いざという時には、「早めの避難」を心がけましょう。

↑平成9年7月に発生した中尾地区金山の山腹崩壊。民家の横ギリギリをかすめて崩れました。

備えは万全ですか？日頃の備えが重要です！

避難場所を確認しましょう

それぞれの地域には指定された避難場所がありますので、実際に家から歩いてみて、途中で危険な場所がないか、道順と場所を確認しておきましょう。各地区の避難場所については、世帯に配布されています。防災マップや町のホームページに掲載されています。

避難方法などを話し合ひましょう

高齢者や子ども、病人、体の不自由な人がいる場合は、地域の人たちが助け合って避難活動が出来るよう日頃から協力体制を築きましょう。

災害に備えて非常用品などを準備しましょう

- ◆非常用品:非常食、飲料水、懐中電灯、ラジオ、ライター、救急用品、衣類、寝具、現金、通帳など（まとめてリュックなどに入れておくと便利です）
- ◆緊急連絡カード:自分の名前や住所、生年月日、血液型、家族と緊急連絡先などを記したものを作り、家族で携帯しておきましょう！

気象情報に気を配りましょう

気象予報や注意報、警報などに気を配り、近所の方々などとも連絡を取り合ひましょう。

家の周りの危険個所を確認しましょう

近くの川や山など、洪水やがけ崩れなどの発生しそうな危険個所を普段からチェックしておきましょう。また、自宅の窓や屋根など早めに修理補強を行いましょう。

危険信号を見逃さないようにしましょう

土砂災害が起こる場合、以下の現象が見受けられます。

- ・わき水の量が急に増えた・今まで枯れたことがないわき水が急にとまった
- ・普段澄んでいる沢や井戸の水がにごってきた・川がにごり、流木が混ざりはじめた
- ・雨が降り続けているのに川の水位が下がった・地鳴りの音が聞こえた
- ・山の木が傾いたり、斜面に亀裂が走った・山の斜面から石が転がり落ちてきた

など多くの場合、危険信号と思われる変化が現れますので、気付いた場合は、役場又は地元消防団へ連絡ください。